

新川小 実践⑥	野菜を食べよう		
実施日時	12月5日(木) 2校時	実施場所	教室
対象	2年生	指導者	栄養教諭 ・ 担任
視点	・食事の重要性 ・感謝の心 ・心身の健康 ・社会性 ・食文化 ・食品を選択する能力		
ねらい	野菜の働きに関心をもち、進んで食べようという意欲を持たせる。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜あてゲームをする。 ハテナボックスの中にある野菜を触って当てる。 他の児童は味、見た目、料理名などでヒントをだす。 ○ 苦手な野菜は何か、なぜ苦手かを考える。 ○ ある日の給食に使われている野菜を数える。給食にはたくさん野菜が使われていることに気づく。 ○ 野菜を食べようという紙芝居をきく。 好き嫌いで野菜を食べないと病気になることに気づく。 ○ 野菜の働きを知る。 ○ 今日の学習でわかったことと、これから野菜を食べるときに気をつける目標を書き、発表する。 ○ ワークシートを家庭に持ち帰り、お家の人のコメント欄に記入してもらい、提出する。 		
児童・ 保護者 の感想	<ul style="list-style-type: none"> ○ きらいな野菜があってもがんばって食べようと思う。(児童) ○ ちゃんと食べないと病気になることがわかった。(児童) ○ すききらいをしないように、バランスよく食べたらよいと思う。(児童) ○ にがてな野菜も、がんばって食べることはいいことだと思う。(児童) ○ 野菜の働きを知ることで、苦手な野菜も少しずつ食べてほしい。(保護者) ○ 野菜をもっと美味しく食べられるように、献立を工夫してみようと思う。(保護者) ○ 野菜の大切さを学ぶことができてよかった。(保護者) 		
成果と 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入にハテナボックスを用いることで児童の興味関心を高めた。 ○ 野菜を育て興味をもってはいるが、苦手な野菜を食べられなかった児童が、少しずつでも食べようという意欲をもつことができた。 ○ 児童は、野菜には体を健康にする働きがたくさんあることに気づくことができた。 ○ 保護者の野菜を食べさせようという意欲が高まり、家庭での行動変容につながった。 ○ 学んだことを児童が継続していけるように、今後も指導していきたい。 		

